

有馬の城づくり、町づくり

其の壱
- 西部編 -



あれから四百年・・・

江戸時代に築かれた
久留米の礎を
さがしてみませんか？

関連年表

藩主	西暦	和暦	主な事柄
① 豊氏	1621	元和 7	豊氏、筑後国へ入り、新しい久留米城の築造と城下町建設に着手する 梅林寺創建
	1624	寛永元	家老屋敷普請（三ノ丸）、できる
	1631	寛永 8	肥前鍋島家・肥後加藤家の支援で、堀普請が完了する
	1641	寛永 18	この頃、榊原・京隈小路が次第にできる
	1642	寛永 19	長町（通町）9丁目まで、家が建つ 豊氏死去、享年 74
② 忠頼	1645	正保 2	洗町の町人を移して、瀬下町をつくる
	1646	正保 3	長町（通町）10丁目まで、家が建つ
	1647	正保 4	山王社（日吉神社）、城内から十間屋敷に移される
	1651	慶安 4	外堀の濠や土居のかさ上げをすすめる
③ 頼利	1664	寛文 4	瀬下町、発展して大石口から通町・京隈口まで家続く
	1667	寛文 7	長町から出火、十間屋敷などへ延焼
④ 頼元	1669	寛文 9	原古賀町3丁目より南にも、家が立ち並ぶ
	1676	延宝 4	大雨洪水、榊原の家臣屋敷を京隈小松原小路に移す
	1694	元禄 7	祇園会再興。藩主使者屋で上覧が以後、恒例となる
	1695	元禄 8	筑後川洪水、瀬下町床上浸水
	1696	元禄 9	庄島から出火、城下大半焼失（白石火事）
⑤ 頼督 ⑥ 則雄	1722	享保 7	狩場門内の牢屋敷を庄島に移す
	1726	享保 11	城内から出火、城下町の大半が焼失（田代火事） 両替町・龜屋町の北側を移転させ、火除け地とする
⑦ 頼隆	1741	寛保元	二ノ丸に稲荷社が建つ
	1745	延享 2	長町を通町と改称する
	1746	延享 3	この頃、通外町ができる
	1764	明和元	五穀神社祭礼始まり「御祭日」という
⑧ 頼實	1785	天明 5	両替町に蘭塾所（藩校明善堂の前身）が始まる ※天明3年（1783）設立・中断されていた「学問所」を再開
	1786	天明 6	鉄砲小路に秋葉社が建つ
	1787	天明 7	榊原小路に秋葉社が建つ
	1793	寛政 5	高山彦九郎、森脇藩宅で自刃。寺町遍原院に葬られる
	1795	寛政 7	藩校明善堂を設立する
⑨ 頼徳	1819	文政 2	頼徳、柳原園の造営を始める
	1827	文政 10	両替町北側広手に桜を植え、馬場とする
	1828	文政 11	十間屋敷から出火、大暴風により通町、榊原小路など延焼
	1829	文政 12	庄島小路から出火、城内、榊原小路、寺町、細工町ほか延焼（文政の大火）
⑩ 頼永	1846	弘化 3	頼永、城内で逝去、享年 25。梅林寺に埋葬される
⑪ 頼政	1866	慶應 2	田中久重、佐賀藩から引き上げる 府中の久留米番製造所を通町十丁目の久重生家の裏に移す
	1869	明治 2	藩邸を高良山座主本坊に移す
	1870	明治 3	大手門、狩場門、京隈口など8か所の門を廃止する
	1871	明治 4	鹿嶋置泉。藩主家族、東京に移る
	1872	明治 5	久留米城の解体・払い下げが始まる
	1877	明治 10	徳山神社、創建。同 12年、社殿が竣工する

◆ 問い合わせ ◆

久留米市 市民文化部 文化財保護課 〒830-8520 福岡県久留米市城南町 15-3
TEL 0942 (30) 9322 / FAX 0942 (30) 9714 / E-mail bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

令和 3年 3月 31日
発行 久留米市教育委員会



2021年、有馬豊氏が久留米藩 21万石の藩主として、初めて久留米城に入ってから 400年を迎えました。